

■ 業務内容

デジタル創薬ラボでは、計算科学・構造科学・バイオインフォマティクスなどのデジタル技術を活用し、創薬研究における意思決定の質と成功確率を高める役割を担っています。具体的には、

- 創薬初期における新規創薬テーマ・ターゲット創出の支援
- 構造予測、ドラッグビリティ評価、FEP解析などを通じた創薬仮説の検証
- AI分子デザインによるデノボ分子設計の支援

創薬初期のテーマ・ターゲット創出支援から、進行中プロジェクトの意思決定局面でのデータ分析まで、解析結果を次のアクションにつなげることを重視しています。

■ 大切にしている思い

単一の結果に頼らず、複数の根拠を突き合わせて考えるデジタル技術は目的ではなく、創薬を前に進めるための手段
研究の先にある開発や患者さんを常に意識する

■ 働く環境・チームの雰囲気

- 計算科学、構造解析、データ解析など、異なる専門性を持つメンバーが集まるチームです。
- 年次に関わらず意見交換が行われる、オープンでフラットな雰囲気があります。
- 疾患研究・探索・開発部門との連携が多く、創薬全体を俯瞰しながら仕事ができる環境です。
- 複数の視点を持ち寄り、建設的に議論しながら前に進む文化があります。

■ 求めている人物像

- 自分の専門を持ちつつ、他分野にも興味を持てる方
- 答えのない課題に対して考えることを楽しめる方
- 周囲と対話しながら、より良い判断を目指せる方